

アオジョウカイ

澄川都市環境林の駐車場広場がオランダギクとヒメジオンの白い花で賑わっているの、ハナカミキリを目当てに目配りをしていました。いました、いました。オランダギクの花の上に青くて細長い小さな虫が止まっているのを見つけました。てっきりハナカミキリの一種だと思って採集いたしました。2018年7月7日午後1時頃と記録しておきます。標本にするために和名をしらべてみますとカミキリ科の虫ではなくてジョウカイボン科のアオジョウカイだったのです。前胸部は黒色で左右にオレンジ色の縁取りがあるのが特徴です。全体が軟らかいので、整体してしまっていました。触角や右前脚、左後脚の先などがちぎれてしまいました。ジョウカイボン科の虫たちは皆カミキリ達によく似ていますが、体が軟らかくて触角が細くて貧弱です。食性は肉食でフンニヤリした体に似合わず顎は強力で外殻の固いゾウムシをかみ砕いて食べている写真が愛用の図鑑に載っていました。花粉や花蜜を食べるものもいる。とも書いてありますので、アオジョウカイがそれに当たるようです。かんぐりまして、花に寄る虫を捕まえるべく、待ち伏せしているのかも、とも思ったりする次第でありました。大きさは11.5～16mm、出現は5～7月、分布はほぼ日本全土。海外についてはよく分かりません。



この日は前日までの雨があがり、曇り日でしたが気温は低く、虫たちの活動があまり期待できない状況でした。それで出会った虫たちの活動も鈍くて、捕獲するには都合が良かったのです。

(記 高野)